

8-1-7 白書委員会

1. 主な活動の記録

(1) 白書委員会等の開催

対外活動・白書合同委員会開催回数：4回

白書委員会WG開催回数：4回

新型コロナウイルス感染症対策のため、委員会等の開催は、主にWeb会議およびメール審議にて実施した。

(2) 活動の目的

建設コンサルタントを広く国民一般に認識・理解してもらうことを目的に、令和4年度「建設コンサルタント白書」を作成する。

内容は、建設コンサルタントおよび協会の概要、建設コンサルタントを取り巻く状況、求められる役割とその多様性、および課題と今後の方向性とし、最終章に建設コンサルタンツ協会の活動を報告する。

なお発行済みの令和4年度「白書」では建設コンサルタント並びに協会の魅力発信のため、新節「3-3 新しいニーズへの建設コンサルタントの挑戦」を設け、SDGs、DX、グリーンインフラ、防災・減災、国土強靱化、アフターコロナ対応およびインフラ構想提言を取り上げると共に、本節の別冊を作成し、建設技術展などで配布を行った。また、全支部の若手活動も紹介した。

2. 白書の作成方針

令和5年度「白書」作成の基本方針は、以下のとおりとする。

- (1) 令和4年度「白書」の基本方針を継承する。
- (2) 建設コンサルタントのさらなる魅力発信を行うために。「3-3 新しいニーズへの建設コンサルタントの挑戦」の内容を充実させるとともに、技術継承、情動的側面、並びに災害への対応とその後の復興状況について、報告を行う。
- (3) 発行時期は令和5年8月末とする。

3. 白書の目次構成

- (1) 令和5年度「白書」も過年度と同様、『要望と

提案』との照合がとりやすい目次構成とする。

- (2) 令和5年度「白書」も、従来通り、協会ホームページにも掲載する。

令和5年度「白書」の目次構成

第1章	建設コンサルタントの概要
1-1	建設コンサルタントの概要
1-2	建設コンサルタンツ協会の概要
1-3	健全な企業経営に向けて
1-4	建設コンサルタンツ協会の経営方針
第2章	建設コンサルタントを取り巻く状況
2-1	建設コンサルタントを取り巻く状況
2-2	公共事業関係費の推移
2-3	建設生産・管理システムの変化
2-4	サステナビリティ経営の実績
2-5	海外事業環境
第3章	建設コンサルタントの役割とその多様化
3-1	建設コンサルタントの役割
3-2	役割の多様化
3-3	新しいニーズへの建設コンサルタントの挑戦
第4章	建設コンサルタントの課題と今後の方向
4-1	担い手確保・育成
4-2	技術力による選定
4-3	品質の確保・向上
4-4	「DX推進の環境整備」と「成長と分配の好循環の実現」
4-5	生産性の向上
4-6	災害対応の環境整備
4-7	適正な地位の確立
4-8	地域コンサルタントの活動領域の拡大
4-9	海外事業の現状・課題を踏まえた競争力の強化
第5章	建設コンサルタンツ協会の活動
5-1	建設コンサルタンツ協会の主な活動
5-2	災害時支援活動
5-3	技術者教育とその継続
5-4	業界の将来を担う若手技術者の主体的活動

4. 執筆・編集体制

執筆担当委員は、項別に担当委員会から推薦を受けた。編集担当委員は、項別に白書WG委員から任命した。

5. 作成部数等

令和4年度「白書」の配付部数は、協会内部に700部、発注者に2,400部、RCCM更新講習会に6,000部の合計9,100部である。なお、協会ホームページにも「白書」の全文を公開した。

6. 次年度の活動について

令和5年度「白書」を作成する。さらに建設コンサルタント並びに協会の魅力発信のため、事務局および関係委員会と協働して、充実を図る。

(白書委員会委員長 吉津 洋一)